

市長就任2年を振り返って

湖南市長 生田 邦夫

湖南省を変える 取り組み課題 12項目（政策）

子育て・福祉政策

- ① 中学生以下の医療費を無料化する
- ② 妊婦健診、産後健診の金額と回数を拡充させる
- ③ こども園、学童保育など幼児保育の充実、小学校・中学校の給食の無償化
- ④ 高齢者の健康づくりや居場所づくりなど、地域で支える地域福祉の充実

安心安全のまちづくり

- ⑤ 現在の新庁舎計画は見合わせ西庁舎周辺整備も含め再検討する
- ⑥ 災害時に避難所となる小学校・中学校の体育館にエアコン設備を
- ⑦ コミュニティバス等の市民の交通システムの整備
- ⑧ 平松の天然記念物ウツクシマツ自生地の再生を

インフラ整備

- ⑨ 国道1号線の4車線化を早期に実現させる。
- ⑩ 新中郡橋を早期着工し、菩提寺⇔石部間の人の流れを良くする。
- ⑪ 菩提寺の大山池浸水被害の防止対策及び河川管理
- ⑫ 天井川である落合川の河川改修を早期に実現させる

子育て・福祉政策

① 中学生以下の医療費を無料化する

令和3年9月1日より開始

対象人数:約4,028人(R4.3.1現在)

令和2年度決算額:3,223,539円

入院:2,825,899円(55件)

通院: 397,650円(17件)

令和3年度決算額:31,306,808円

入院: 1,438,213円(20件)

通院:29,868,595円(14,033件)

② 妊婦健診、産後健診の金額と回数を拡充

【妊婦健診】

～令和3年・・・1回につき3,600円助成

令和4年度・・・1回につき4,000円助成

(全14回助成、1人当たり5,600円増額)

【産婦健診】

～令和3年・・・産婦健診2,000円+1か月児健診1,500円助成

令和4年度・・・産婦健診+1か月児健診5,000円助成

(1軒当たり1,500円増額)

* 双胎児の場合は6,500円

子育て・福祉政策

③ こども園、学童保育など幼児保育の充実、小学校・中学校の給食の無償化

【保育園こども園】

保育園やこども園における乳幼児の受入れ状況は、令和3年度、令和4年度待機児童0を達成。

【学童保育所】

小学生の学童保育所は満員状態←課題

9月に全学童保育所を視察、課題の確認と対応策の見直しを検討。

【給食の無償化】

他の県事業との兼ね合いを(医療費の無料化等)見極めつつ、代替財源を模索

④ 高齢者の健康づくりなど、地域で支える地域福祉の充実

【小規模多機能自治の先駆けとして】

地域包括支援センターを支所化し住民に1番近い相談機関にする。

令和3年度相談件数(4月～8月末):1,979件

令和4年度相談件数(4月～8月末):3,128件

令和4年度実相談者数(4月～8月末):641人

超高齢社会に突入し、地域の課題(高齢者に関わる課題が多い)は、地域で解決できる方策を確立していくための先駆けとする。

安心安全のまちづくり

⑤ 現在の新庁舎計画は見合わせ西庁舎周辺整備も含め再検討する

【東庁舎の耐震診断】

→今後の方向性の指針(令和4年度事業)

【西庁舎周辺整備】

→小規模多機能自治の進め方とともに必要な施設を整備する。

【小規模多機能自治の推進】

→業務を整理、調査する委託を実施。(令和4年度事業)

⑥ 災害時に避難所となる小学校・中学校の体育館にエアコン設備を

必要性について検討



現場において優先的に整備する必要性がないとの指摘



整備しない方針に変更

安心安全のまちづくり

⑦ コミュニティバス等の市民の交通システムの整備

【検証作業】

予約乗合バスの運行を試行し、利便性と費用対効果の検証を令和4年度より展開

～2路線(甲西南線エリア、医療センターエリア)～

	R3上半期	R4上半期	うちR4乗合バス
運行費	65,108千円	68,233千円	7,441千円
乗客数	131,248人	139,142人	6,405人
	496円/人	490円/人	1,162円/人

⑧ 平松の天然記念物ウツクシマツ自生地の再生を

令和3年3月 シンボルツリー伐採、周辺地域に苗木を植樹、自生地保存活用計画の策定

令和3年5月 松くい虫被害防除のため薬剤の地上散布(2回実施)

令和3年10月 平松のウツクシマツ自生地保存活用計画の文化庁認定

令和4年2月 枯損木及び日照環境改善のための支障木伐採(ウツクシマツ枯損木2本、ヒノキ10本)

令和3年3月 順応的管理を検討するための生育試験(苗木の補植40本、種子の播種800粒)

令和4年7月 ウツクシマツ自生地の日照環境及び景観改善のため、自生地前民地の樹木(約100本)を伐採

インフラ整備

⑨ 国道1号線の4車線化を早期に実現させる

●防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(近畿ブロック版)が策定され、滋賀県で5路線の令和7年度秋の供用開始が公表された中には、当該路線は含まれていなかった。

●今年度から甲賀湖南道路整備促進期成同盟会と大津湖南地域幹線道路整備促進協議会の会長となり、早期4車線化について、国等に対する要望活動を積極的に実施。

→中央:R4.8.23

近畿地方整備局:R4.7.28

滋賀県警:R4.8.1

県:R4.10.5

⑩ 新中郡橋の早期実現

●今年の12月末から来年早々にかけて、新中郡橋の橋梁予備設計と土質調査業務を債務負担にて発注予定。

●この業務の完了後に、県道4号までの区間において道路詳細設計、橋梁詳細設計等を進めて行く予定。

インフラ整備

⑪ 菩提寺の大山池浸水被害の防止対策及び河川管理

- 大山池余水吐き切下げに対し、水利権者である野洲市北桜農業者の同意が得られない状況。
- 甲賀土木事務所にも継続的に要望しているが、技術指導のみの回答で、水利権が絡む事案であることからハード的な手当を進める意思はなし。
- 広野地域の開発で調整池が設けられることにより、水害対策として僅かな改善に期待
- 12月補正の緊急維持修繕工事でフレンド마트前の交差点から歩道敷に北方向へ排水管を追加敷設する予定。

⑫ 天井川である落合川の河川改修を早期に実現させる

- 令和6年度から事業に着手するため、今年度から事業計画変更に係る報手続きを開始、今年12月に計画変更に伴う住民説明会を開催予定。
- 令和5年度に整備計画の変更手続きを実施。
- 令和6年度に落合川改修の詳細設計業務や用地調査業務の発注といったスケジュールを予定。